

家庭学習の手引き（1・2年生）

始める前に

- ◇ 学校からのお手紙を家の人にわたし、かばんの中を整理しましょう。
- ◇ 学習するつくえの上やまわりをせいとんしましょう。
- ◇ テレビや音楽は消して、しずかな場所で集中して学習しましょう。
- ◇ 家の人とときめたくやくそくの時間に、はじめましょう。

☆毎日、《宿題 + 自主学習を10分》をめやすにがんばろう！

1 おきまりコース（はじめに宿題をしよう）

- ① 先生から出された宿題を、しっかりやりましょう。
- ② 音読カード・国語の教科書を用意して、音読練習をしましょう。



2 おこのみコース（宿題のほかに、がんばれたらやってみよう）

国語

- ① たくさん本を読みましょう。
- ② 音読練習ですらすら読めるようになったら、暗唱してみましょう。
- ③ 学習したひらがな・カタカナ・漢字の練習や言葉あつめをしましょう。
（言葉をつくって練習しましょう。【学学学…ではなく、学校・学しゅう・学ぶ…】）
- ④ 教科書や好きな本の文章を、写し書きしてみましょう。

算数

- ① 計算練習に取り組みましょう。（計算カードをつかってもよいでしょう。）
- ② 問題文をうつつしてから、式や考え、計算や答えを書くようにしましょう。
（できたら、すぐに答え合わせをしましょう。）
- ③ 自分で問題作りをしてみましょう。
- ④ じょうぎをつかって、線をひいたり、三角や四角をかいたりしてみましょう。

その他

- ① 自分でそだてた生き物や自然の観察をして、絵や文にかきましょう。
（図かんなどをつかって調べ、わかったことをかいてもよいでしょう。）
- ② 働いている人や、家の人のしごとのようにすを調べ、わかったことをかきましょう。
- ③ 日記や作文にその日のできごとや思ったことを書きましょう。
（日づけ・場所・天気・その時の気持ち・話したこと聞いたことなども入れましょう。）



おわったら

- ◇ ぶでばこのえんぴつを、けずっておきましょう。
- ◇ 時間割をたしかめて、明日の用意をしましょう。
- ◇ つくえの上やかばん、明日の持ち物の整とんをしましょう。



◆保護者の方へ◆

- 低学年では、親がそばにいることも大切です。夕食のしたくの時などに、近くのテーブルでやらせるのも一つの方法です。
- 字が乱雑であったりしたときは「もう一度がんばってみよう」と声をかけ、上手に書けたらほめてあげてください。
- 算数の計算問題などは、保護者の方が〇つけをし、間違いがあった場合は、その場で直しをすると効果的です。

家庭学習の手引き（3・4年生）

はじめる前に

- ◇ 学校からのお手紙を家の人にわたし、かばんの中を整理（せいり）しましょう。
- ◇ 学習するつくえの上やまわりを整とん（とんとん）しましょう。
- ◇ テレビや音楽は消して、静かな場所で集中して学習しましょう。
- ◇ 家の人と決めたやくそくの時間に、はじめましょう。

☆毎日、《宿題＋自主学习を20分》をめやすにがんばろう！

1 おきまいコース（はじめに宿題をしよう）

- ① 先生から出された宿題を、しっかりやりましょう。

2 おこのみコース（例） （宿題がおわったら、といくんでみよう）



国語

- ① いろいろな種類（しゅるい）の本を、たくさん読みましょう。
（読んだ本の感想を記録しておくのもよいでしょう。）
- ② 気に入った文章を、視写（ししゃ）したり暗唱（あんしょう）したりしてみましょう。
- ③ 言葉をつくって、漢字練習をしましょう。
- ④ 辞典（じてん）を使って、語句（ごく）の意味や、ことわざの意味を調べましょう。
- ⑤ 詩や作文を自分で書いてみましょう。

算数

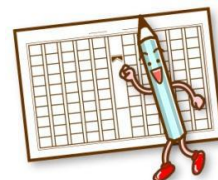
- ① 学校で学習したことを復習（ふくしゅう）しましょう。
- ② 教科書やドリルの問題文をうつしてから、式や考え、計算や答えを書きましょう。
- ③ 自分で文章問題を作って解いてみましょう。
- ④ 定規（じょうぎ）や分度器（ぶんどく）、コンパスなどを、上手に使うて図形をかきましょう。

その他

- ① 社会の教科書をよく読み、大事なところをノートに書いてまとめましょう。
（地図記号、都道府県（とどうふけん）や群馬県市町村の名前・位置・その土地や人の様子など）
- ② 教科書の内容を、さらにくわしく調べてみましょう。
（インターネットや図書館の本などを利用して、わかったことをまとめましょう。）
- ③ 新聞の切りぬきなどの、資料（しりょう）を集め、ノートなどにはってみましょう。
（新聞の名前・日づけ・その記事に対する考えや感想なども書いてみましょう。）
- ④ 日記を書いて、一日をふりかえりましょう。

おわったら

- ◇ 筆箱（ふでばこ）の鉛筆（えんぴつ）をけすったり、学習用具をそろえたりしましょう。
- ◇ 時間割（たし）を確かめて、明日の用意をしましょう。
- ◇ つくえの上やかばん、明日の持ち物の整とんをしましょう。



家庭学習の手引き（5・6年生）

始める前に

- ◇ 学校からの手紙を家の人にわたし、かばんの中を整理しましょう。
- ◇ 学習する机の上や周囲を整頓（せいとん）しましょう。
- ◇ テレビや音楽は消して、静かな場所で集中して学習しましょう。
- ◇ 時間を決め、計画的に学習を進めましょう。

☆毎日、《宿題＋自主学習を30分以上》をめやすにがんばろう！

☆ 自主学習の選択メニュー（例）

特定の教科にかたよらず、いろいろなものに取り組みましょう。

国語

- ① いろいろな種類の本を読んで、感想を書く。
- ② 気に入った詩や文章を、視写したり暗唱したりする。
- ③ 熟語や短文を作って、漢字練習をする。
- ④ 辞典を使って、語句の意味や、故事成語（格言・ことわざなど）の意味を調べる。
- ⑤ 詩や小説・意見文などを、自分で書く。



算数

- ① 学校での学習内容を復習する。
- ② 教科書やドリルの問題文を写してから、式や考え、計算や答えを書く。
- ③ 自分で文章問題を作って解く。
- ④ 定規や分度器、コンパス等を使って作図し、面積・体積・角の関係などを理解する。

その他

- ① 社会の教科書を声に出して読み、要点や用語・資料から読み取ったことなどをノートに書いてまとめる。
- ② 理科の教科書を声に出して読み、要点や用語などをまとめるとともに、実験・観察の手順や器具、結果の予想や考察などを、絵や図・文章にかく。
- ③ いろいろな教科や総合的な学習にかかわる内容について、さらに調べる。
(インターネットや図書館の本などを利用して、わかったことをまとめる。)
- ④ 新聞の切りぬきなどの、資料を集め、ノートなどにはる。
(新聞の名前・日づけ・その記事に対する考えや感想なども書いておく。)
- ⑤ 日記を書いて、一日をふりかえる。



終わったら

- ◇ 筆記用具などの学習用具の準備をしましょう。
- ◇ 宿題などの提出物がそろったかどうか確認をしましょう。
- ◇ 時間割を確かめて、予習が必要なものには取り組みましょう。

